

事務事業	8036	選挙管理委員会運営事業	担当課	住民課	担当係	選挙管理委員会
------	------	-------------	-----	-----	-----	---------

計画 後 期 計 画 系 画	施策	20	質の高い行政サービスを提供するまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	560	町民ニーズに対応した行政サービスを提供する		款	2	総務費
					項	6	選挙費
					目	1	選挙管理委員会費

法令根拠条例等	地方自治法、公職選挙法	個別計画
---------	-------------	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	S25 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	-------------------------------------------	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 選挙の適正な管理執行のため、選挙管理委員会の適切な運営を図る。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
	主 な 事 業 費 の 内 訳	選挙管理委員会委員報酬	285 千円
		費用弁償	28 千円
		消耗品費	24 千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 選挙人名簿の定時登録時における委員会の開催及び選挙執行(選挙人名簿の選挙時登録)時における委員会の開催、委員報酬の支払		千円	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・選挙管理委員会の開催	事務事業の目的
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 選挙管理委員	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 選挙に係る事務や選挙の適正な管理執行を行う。 公平、公正な選挙の執行。	

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 委員会開催数	回	5	5	6 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 選挙管理委員会委員数	人	4	4	4 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 議決率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	100.0	100.0	
イ 選挙結果に対する異議申し立て件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	0	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	1	2	3	2		
		受益者負担等						
		一般財源	354	359	334	359		
		合計(A)	355	361	337	361	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	1,501	2,033	1,877	2,867		
	トータルコスト(A)+(B)	1,856	2,394	2,214	3,228	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
地方自治法に基づき実施。	特に変化はない。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	平成29年度には選挙はないものの、引き続き、適切に管理運営できるように努めていきたい。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	平成29年度には衆議院解散により選挙が執行されたが、適切に管理運営することができた。次年度以降も、引き続き、適切に管理運営できるように努めていきたい。

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	選挙管理委員会を適正に運営しており、各種選挙の適正な管理執行に結びついているため、質の高い行政サービスを提供するまちをつくるという施策の意図に結びついている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	この事務は、地方自治法第181条第1項の規定に基づき、町が実施すべき事業であるので、妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	法に基づき、適正な運営がなされているため、これ以上の向上余地はない。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	選挙管理委員会の運営は、地方自治法及び公職選挙法に基づくものである。廃止・休止した場合、選挙そのものの管理執行ができなくなり、成果へ重大な影響を及ぼす。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	選挙管理委員会運営にかかる経費は、特にコスト削減の余地がない。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

衆議院議員選挙があったが、大きな事故もなく、適切な管理運営がなされたと思う。引き続き、適切に管理運営できるように努めていきたい。

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	平成30年度末には統一地方選挙が予定されており、引き続き、適切に管理運営できるように努めていきたい。